



猫

の不妊手術をしましょう

よく、「手術するのはかわいそう」と言われる方がいらっしゃいますが大きな間違いです。発情期の自然な行動をおさえるほうがどんなに猫にとってつらくストレスがかかることでしょうか。不妊手術は、望まない妊娠・出産を防止する他にも、メスは、発情期に大声で鳴いたり、家を飛び出したりということがなくなります。オスは、ケンカが減り、家を飛び出したりすることもなくなり、スプレー（縄張りを示すためあちこちにおしっこをかける行動）を防止することもできます。もちろん、交尾でうつる病気（猫エイズ・白血病etc）を防げることが可能になります。また、不妊手術をしないでおくと、オス・メス共にガンや生殖器系の病気の発生率が高くなってしまいます。

年間60万頭もの「不要」とされる尊い命が身勝手な理由で遺棄され、処分されている現実があります。「手術するのはかわいそう」その気持ちもわかりますが、手術をしないでいると「不要」とされる猫達がどんどん増えていくのも現実なのです。あなたはどちらの方が、かわいそうだと思いますか？



【不妊手術により予防できる病気】



【メス】

- 子宮蓄膿症（4歳以上は多発）
- 子宮内膜炎
- 子宮癌
- 卵巣癌
- 乳腺腫瘍
- 乳ガン
- 他、多種



【オス】

- 睾丸腫瘍
- セルトリ細胞種
- 肛門周囲腺腫
- 前立腺肥大
- 精巣上体腫瘍
- 他、多種

愛護動物を捨てた者は、50万円以下の罰金に処されます。